

戦時文庫目録刊行にあたって

このたび、特別コレクションである戦時文庫を目録としてまとめました。当館には、すでに昭和60年に手書き原稿を印刷・発行した『戦時文庫目録稿』があります。今回は、昨年刊行した“読む目録”『ベストセラーズ文庫目録』に続き、“見る目録”として構成を一新し、表紙に描かれた絵や写真などがご覧いただけるよう、ビジュアル版といたしました。

第二次世界大戦中、文部省は国民の読書を推進しました。当時まだ県立図書館のなかった神奈川県では、神奈川県貸出文庫事業を推進するにあたり、県学務部社会教育課が所管し、実際の運営は金沢文庫が行うことになりました。戦時文庫とは、この貸出文庫図書の一部が、紆余曲折を経て当館に収蔵され、命名されたコレクションのことです。貸出文庫の背景や当館が所蔵するまでの経緯については、くわしくは本目録中の「戦時文庫の成り立ち」及び「戦争前後の神奈川県と貸出文庫」をお読みください。戦時下及び戦後の混乱する世相のなか、時代の証人となるこのように貴重な資料を現在まで保存し、継承された先達に感謝いたします。

なお、本目録に収録された図書は、ほとんどが昭和16年から昭和19年に発行されており、国立国会図書館においても所蔵していない図書を含んだ貴重なコレクションとなっております。

この戦時文庫目録を、戦時下の状況を知るための資料としてご活用いただければ幸いです。

平成14年2月

神奈川県立図書館長

赤羽根日出夫